

令和7年度 スマート林業機械・ 木質系新素材 シンポジウム

新技術の開発・実証が拓く
林業の未来

2026.2.4(水)
10:15 - 16:25

会場:主婦会館プラザエフ
(東京都千代田区六番町)

定員:160人(先着順)・参加費無料

申込方法

下記URLまたは二次元コード
から事前に申込ください
[https://forms.gle/KFjF1
QBF6EhzQfUd8](https://forms.gle/KFjF1QBF6EhzQfUd8)



前日2月3日(火)開催の森ハブシンポジウム
と合わせてご参加ください

主催:一般社団法人 林業機械化協会
一般社団法人 木材加工技術協会
E-mail: www-admin@rinkikyo.or.jp

プログラム

<敬称略>

開会挨拶

林 野 庁 長 官 小坂 善太郎
林業機械化協会 副会長 有吉 実

第1部

木質系新素材
の開発・実証
の現状

10:30-11:30

改質リグニンの産業化を促進する材料
リサイクルと副産多糖類利用技術の開
発・実証

森林研究・整備機構、物質・材料研究機構、
東京工科大学、石川県工業試験場、
大阪産業技術研究所、宮城化成

非レーヨン系竹綿系の国産生産プロセ
ス技術の開発・実証

エシカルバンブー

(講評) 木口 実(日本大学教授)

第2部

林 業 機 械 の
開発・実証の
現状

11:30-14:55

急傾斜地に対応した遠隔操作式植栽
機械の開発

松本システムエンジニアリング

急傾斜地における自動運転型下刈機
械の実証および植栽アタッチメントの
試作

NTTドコモ、筑水キャニコム、
千歳林業

ラジコン式伐倒作業車の自動走行技術
の改良および集材システム等の開発・
実証

松本システムエンジニアリング、
久大林産

自動運転フォワーダの実用化に向けた
多対多コントロールシステム等の開発

パナソニックアドバンステクノロジー、
諸岡、国際電気通信基礎技術研究所、
森林研究・整備機構、東京農工大学

乱巻き防止型自動集材・造材マルチ
ワークシステムの開発・実証

イワフジ工業、中井林業

(講評) 今富 裕樹
(東京農業大学 非常勤講師)

第3部

林業機械化と
安全確保

15:15-16:20

スマート林業における
「森林と機械と人間」

山田 容三
愛媛大学名誉教授
森林ヒューマン・ファクター研究所所長

スマート林業技術の現場実装に向け
た施策について

林野庁研究指導課

閉会挨拶

林野庁研究指導課

